



安全・安心な  
千葉の農畜産物を  
お届けします  
2023 事業案内

  
JA全農ちば

全農

# 今次 3か年計画(令和4年度～6年度)の考え方

JA全農は事業環境等に大きな変化が予測されるなか、「**持続可能な農業と食の提供のため“なくてはならない全農”であり続ける**」ことを2030年の全農グループのめざす姿として位置づけ、事業領域の拡大、既存事業の深耕を進めていきます。

千葉県本部では、「農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化」に向けた「千葉県本部 2030年のあるべき姿」を掲げ、実現に向けた今次3か年計画を実践します。

## 千葉県本部 2030年のあるべき姿

耕種：JAと全農が一体となって地域の生産基盤を維持することができている。

畜産：県内畜産生産者に対応するJAグループの最適化を実現し、生産基盤の維持に向けた生産力向上と販売力強化がはかられている。

くらし 生活：組合員へのサービスが充実し地域の活性化に結び付いている。

住宅：施主代行方式の利便性が広く理解され、組合員やJAに定着している。

## 取り組みの柱・令和4年度～6年度の重点実施策

### 1. 生産基盤の維持・産地づくり

- (1) 出向く活動(TAC活動等)強化による生産基盤の維持・拡大
- (2) 農業労働力支援の安定的な稼働体制の構築
- (3) JA域を超えた「オール千葉」体制による集荷・販売
- (4) 出荷規格の統一・簡素化
- (5) 千葉米の結集に向けた集荷の拡大
- (6) 「房総ポーク」の生産性向上や新規生産者への提案による頭数の維持・拡大

### 2. 人材の育成

- (1) JA営農指導員・経済担当者向け基礎研修会の実施
- (2) 産地課題に対応できる「品目別専門指導員」の養成
- (3) スマート農業ツール指導者の育成

### 3. 生産性の向上と生産コストの低減

- (1) スマート農業技術を活用した営農支援
- (2) 土壌診断にもとづく適正施肥の推進
- (3) 水稻省力・低コスト技術の普及拡大
- (4) 肥料銘柄集約や農薬担い手直送規格(メガ得)の取扱拡大
- (5) 酪農コンサルタント巡回による飼養技術および品質の向上

### 4. 販売力強化

- (1) 実需者ニーズにもとづいた生産振興・産地づくりによる販売強化、生産から販売までの一貫したしくみの構築
- (2) 千葉米の知名度向上による新規需要拡大と安定的な販売
- (3) JA全農ミートフーズ(株)との連携による肉豚・肉牛の販売力強化

### 5. 系統シェア拡大

- (1) 肥料新共同購入運動の銘柄集約や農薬担い手直送規格の取扱拡大による価格の引き下げと、系統未利用・低利用生産者の取り込み
- (2) 段ボール資材の系統未利用・低利用生産者の取り込み

### 6. SDGs・「みどりの食料システム戦略」への対応

- (1) GAP指導員の育成と「するGAP」のステップアップ
- (2) 被覆肥料のプラスチック被膜殻の農地からの流出防止対策の推進
- (3) 国内地域資源を活用したコスト低減肥料や、化学農薬使用回数の削減に向けたIPM※に適合する農薬の普及・拡大
- (4) 労働力軽減や廃プラスチック排出削減に向けた生分解性マルチの普及・拡大

### 7. くらしへの貢献

- (1) 国産農畜産物を主原料とした食品の取扱拡大
- (2) シロアリ防除事業や健康機器の取扱拡大
- (3) JA石油小売り機能の強化や営農用燃料の取扱拡大
- (4) 施主代行方式による資産管理事業・住宅事業の取組強化

### 8. 広報活動の強化・消費拡大対策

- (1) TV、ラジオ、SNS等の活用による県産農畜産物のPR
- (2) JAグループ千葉広報協議会との連携による本会・JAの取り組みに係る情報発信
- (3) 消費動向の変化に対応したeコマース事業の取扱拡大

### 9. 多発する自然災害・家畜疾病への対応

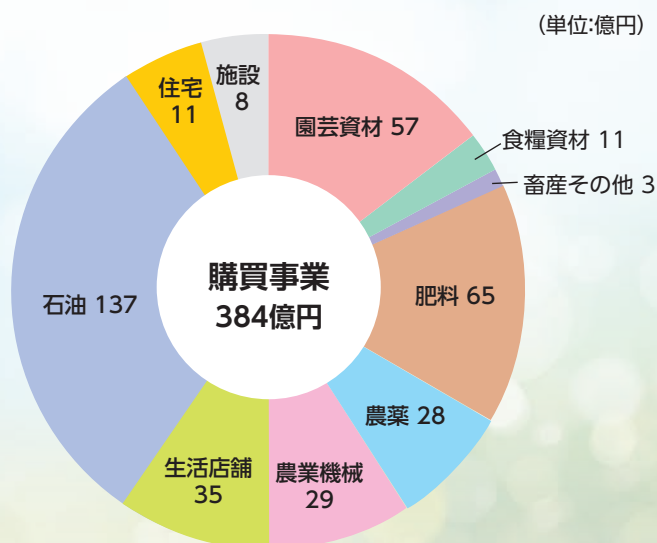
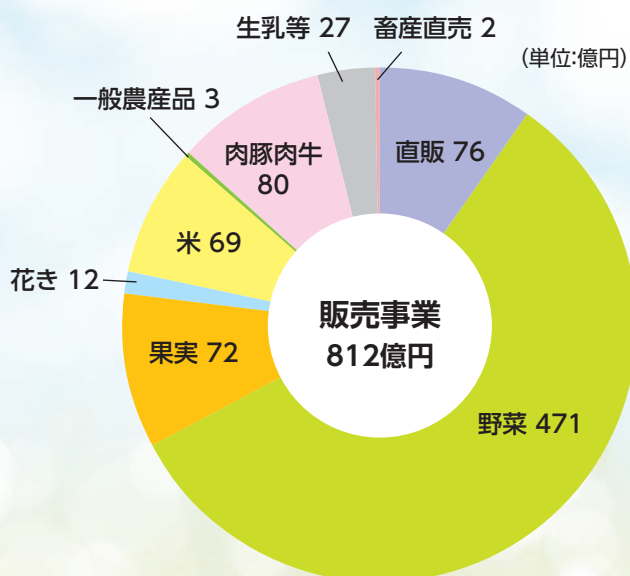
- (1) 被害の未然防止・最小化に向けたJA・生産者への情報発信
- (2) 被害発生時の迅速な復旧支援の実施
- (3) 講習会等による家畜防疫意識の向上および農場等における飼養衛生管理強化の支援

### 10. JA経営基盤の確立・強化に向けたJA支援の取り組み

- (1) JA経営基盤の確立・強化に向けた経済事業強化メニューの整備と実践
- (2) 県域各連との連携によるJA事業に関する調査・分析等の実施

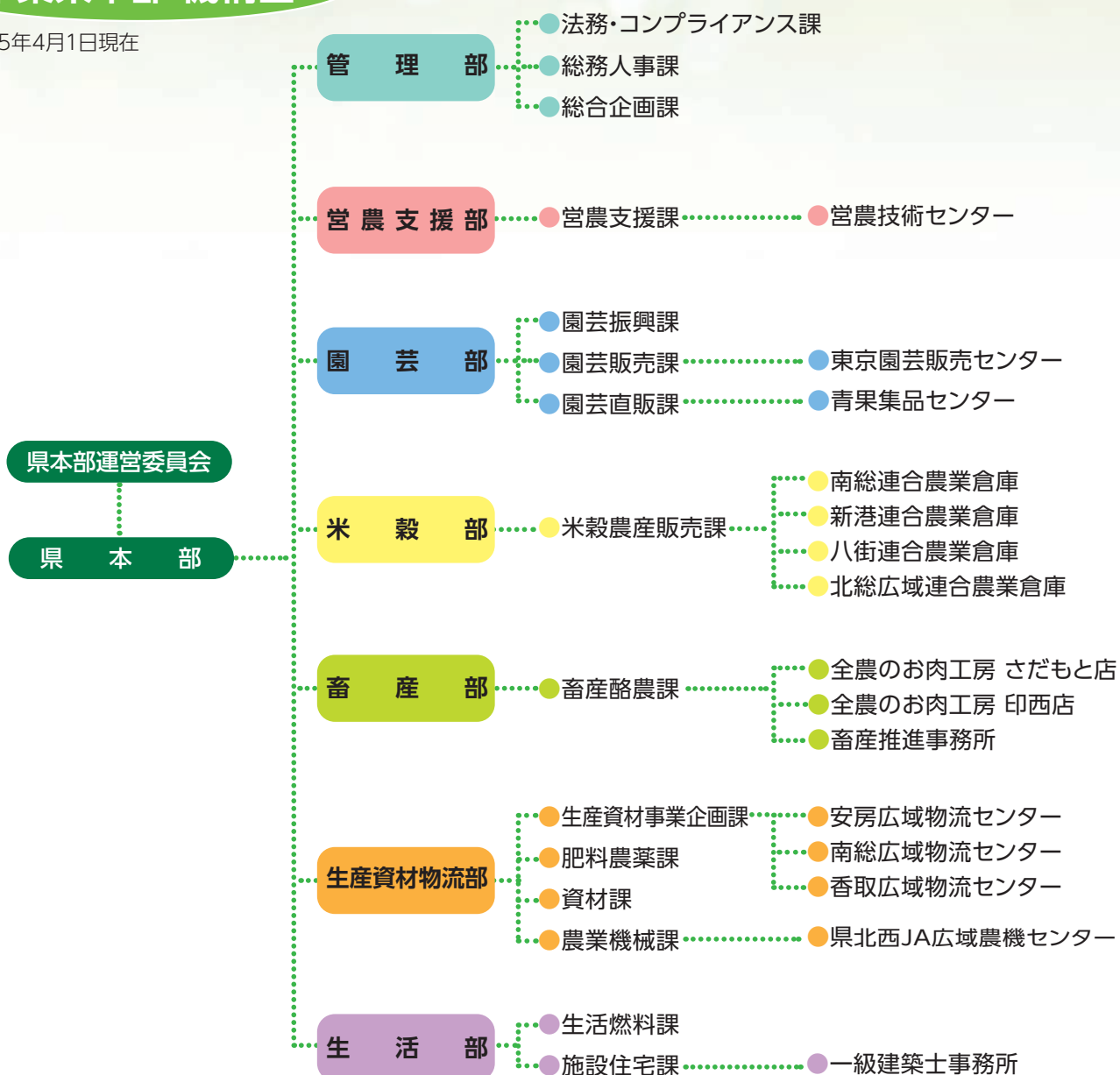
※IPM(Integrated Pest Management):総合的病害虫・雑草管理。利用可能なすべての防除技術を経済性を考慮しつつ慎重に検討し、病害虫・雑草の発生増加を抑えるための適切な手段を総合的に講じるもの。(農林水産省「総合的病害虫・雑草管理(IPM)実践指針」から抜粋)

## 令和4年度 全農千葉県本部 事業取扱実績(1,196億円)



## 千葉県本部 機構図

令和5年4月1日現在



# 営農支援部

## ●営農支援課

「生産基盤維持・産地づくりに向けた営農支援」として、各JA地域農業振興計画を軸とした担い手支援や、農作業受委託方式・農福連携による労働力支援、農業ICT(Z-GIS※1)やドローン等の新技術の実証・普及に取り組んでいます。

また、産地づくりにつながる人材育成支援として、JA営農・経済担当職員のレベルアップに向けた研修や品目別専門指導員の養成研修のほか、千葉県農業者総合支援センターと連携した若手生産者や農業生産法人等の担い手を対象とした研修を実施しています。

※1 Z-GIS:全農版クラウド型営農管理システム



ドローンによる農薬散布実証



土壌診断結果から処方箋作成

## ●営農技術センター

適正施肥による生産コスト低減と過剰施肥を改善するため、土壌診断にもとづいた処方箋の活用による施肥提案、土づくりの啓発や、高品質の野菜を安定生産のため優良種苗の生産・供給を行なっています。また、施設園芸の高収量・高品質生産モデル確立のための栽培実証や、人材育成のための各種研修および現地課題の解決に向けた試験にも取り組んでいます。

# 園芸部

(2023年度計画 674億円)

## ●園芸振興課

「生産の維持・拡大と生産振興の取組強化」として、出荷量の多い主要4品目(長ねぎ・にんじん・さつまいも・トマト)のJA域を越えた「オール千葉」体制による生産拡大に取り組めます。また、千葉県農業者総合支援センターと連携した系統未利用者・低利用者への推進強化による系統シェア拡大に取り組んでいます。

## ●園芸販売課

パートナー市場と連携したオール千葉体制による市場販売の強化に向け、だいこんやにんじん等の主要7品目を中心に、取引先を明確にした契約販売や直送別注販売を始めとした予約相対取引の拡大の取り組みのほか、食品メーカー・百貨店等の取引先と連携した新たな消費宣伝等に取り組んでいます。



イオン近畿県産青果物フェアの様子

## ●園芸直販課

生協や外食・中食向けサプライヤーへの提案強化による実需直販の拡大と、東南アジア諸国を中心とした千葉県農産物の輸出拡大に取り組んでいます。また、SNS等を活用した県産農畜産物の消費拡大に取り組んでいます。



青果集品センター

# 米穀部

(2023年度計画 91億円)

## ●米穀農産販売課

米穀事業では、JAにて集荷された米穀を、米卸会社や実需者を通じて消費者の皆さまへお届けしています。この円滑な流通に向け、連合農業倉庫の活用により、安心安全な保管管理体制の構築および販売の拠点とするほか、系統集荷シェアの拡大や契約栽培米の普及等を進めることで、産地と販売先との結び付けを強化し、千葉県産米の安定販売に取り組んでいます。また、消費者向け宣伝活動により、千葉米の知名度向上や米消費拡大に取り組んでいます。

一方、生産面では需要に応じた米生産普及のため、「飼料用米」を中心とした水田活用米穀の作付推進を県・関係機関と連携し取り組んでいます。

農産事業では、日本一の生産量を誇る千葉県産落花生のさらなる生産振興と販売促進に取り組んでいます。また、米穀農産事業の円滑な流通に不可欠となる米麦種子、フレコン等食糧資材も取扱い、これらの安定供給に取り組んでいます。



落花生のぼっち



米消費拡大動画(イメージ)

# 畜産部

(2023年度計画 111億円)

## ●畜産酪農課

肉豚事業では、銘柄豚「房総ポーク」の生産者の生産性向上や新規生産者への提案による頭数確保と知名度向上による販売力強化に取り組み、生産者の経営維持および生産の拡大に取り組んでいます。

肉牛事業では、生産者の所得安定化に向け、相対取引の強化およびJA全農ミートフーズ(株)と連携した輸出事業に取り組めます。

酪農事業では、酪農生産基盤維持・拡大のため、技術コンサルタントの巡回指導により、生産者の手取り向上に取り組んでいます。

直販事業では、直売店舗「全農のお肉工房」やインターネット販売サイトの「JAタウン」での県産の系統ブランド肉やその加工品の販売を通じ、知名度向上と消費拡大に取り組んでいます。

また、県内の畜産生産基盤維持のため、JA・関係団体との連携により家畜堆肥の活用と地域循環型の仕組みづくりを検討・協議しています。



全農のお肉工房 印西店



コンサルタントの巡回指導

# 生産資材物流部

(2023年度計画 188億円)

## ●生産資材事業企画課

生産資材コストの低減、被覆肥料のプラスチック被膜殻の海洋流出防止に向けた適切な圃場管理の指導、SDGsや「みどりの食料システム戦略」など、農業における環境負荷低減に取り組めます。

また、JAの物流コスト削減に向けて、広域物流センターを運営し、組合員宅への購買品(生産・生活資材)の戸配送に取り組んでいます。



プラスチック被膜殻の水田圃場からの流出防止捕集ネットの検証

## ●肥料農薬課

安全・安心でおいしい農産物づくりのための高品質肥料の安定的な供給と化成肥料をはじめとした銘柄集約、ならびに通常規格より低コストな農薬担い手直送規格(愛称:メガ得)の取扱強化などにより、系統未利用・低利用生産者の利用拡大と生産コストの低減に取り組んでいます。

また、堆肥など国内地域資源の活用によるコスト低減肥料の普及拡大、高品質な農産物を安定的に生産するための基本となる「土づくり肥料」の利用拡大などにも取り組んでいます。



## ●資材課

農産物の出荷に必要な段ボール等の出荷資材をはじめ、生産に必要なパイプハウスなど農業資材や種苗の安定供給に取り組んでいます。

また、資材コスト低減や作業効率の改善に向け、低コスト原紙段ボールやノンステープル段ボールの提案、環境に配慮した生分解性マルチの利用拡大に取り組んでいます。



パイプハウス自力施工研修

## ●農業機械課

低価格モデル農機の共同購入(コンバイン4条刈50馬力クラス)やレンタル農機の取扱拡大、中古農機の流通拡大等により生産コストの低減に取り組んでいます。また、毎年10月に「JAグループ千葉農業機械大展示会」を開催して、県下JAが結集し生産者に新商品や新技術(スマート農業機械など)の情報発信を行っています。

共同購入コンバイン開発中!!

大型・中型トラクターは、全国の生産者の皆様の共同購入への結果により、生産者の皆様が進めてきた低価格を実現してきました。第3弾として、主要3機種(トラクター、コンバイン、田植え機)のなかで、最も利用経費の安いコンバイン(全農課へ)において、「生産者アンケート」および「生産者との意見交換会」を実施し、生産者の声を元に必要事項を整理し、令和5年1月に「共同購入コンバイン」の導入を希望する方から、順次、全国の生産者の皆様へご案内し、購入意向を確認する取り組みを実施しております。ぜひご協力をお願いします。

令和5年1月以降 製品と価格のご案内

令和5年4月以降 出荷開始

令和5年6月まで 購入意向の確認

共同購入コンバインとは?

JAグループで生産者の皆様と、全農が生産者の代理人として一貫して仕入を行うことで、製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。

主要した主な機種

- 4条刈50馬力クラス
- 車体水平制御
- 傾斜クローラ
- 刈取オートクラッチ
- 傾き感知ベダル・スイッチ
- オート自動制御(傾斜、収穫)
- 大型機方ミラー(左右)
- 1日作業可能な燃料タンク(概ね6時間程度を想定)

JAグループ

共同購入コンバイン広告

## ●生活燃料課

生活事業では、国産農畜産物および国産農畜産物を主原料とした食品の取扱拡大に取り組んでいます。また、周知活動の一環として、エコープマーク品を中心に、SNSを活用したレシピ提案を行い、商品PRに取り組んでいます。

また、シロアリ防除事業や健康機器に加え、太陽光発電システム・蓄電池等の取り扱いを通じ、地域の豊かな暮らしを応援しています。

燃料事業では、営農用燃料油（灯油・重油・軽油）の新規利用拡大や地域ライフラインの維持を目的にJA-SSの運営力強化支援に取り組んでいます。また、業界初となるQRコード決済の導入にも取り組みました。



JA西印旛印西らっきょう酢大陳

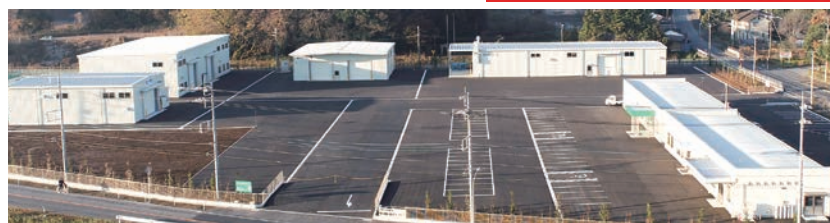
## ●施設住宅課

JAと連携した組合員への土地有効活用の相談・提案活動を強化し、施主代行方式による事業対応に取り組んでいます。

また、一級建築士事務所による、計画的な建替、補改修等の相談・提案活動に取り組んでいます。



全農施行物件



JA-SS QRコード決済



各事業部門との横断的な取り組みによる新たな事業のサポートを行うとともに、コンプライアンスの徹底、県本部内の経営状況の把握、事業計画の立案、計画的な人材育成に取り組んでいます。

また、各種媒体を活用した積極的な情報発信に取り組んでいるほか、スポーツを通じた食育活動や、県内JAの経済事業経営基盤の確立に向けた取り組み・組合員サービス向上に向けた取り組みをサポートします。



ジェフユナイテッド市原・千葉と行った収穫体験

# SDGsへの取り組み

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 持続可能な開発目標(SDGs)とは

SDGsとは「持続可能でよりよい世界を目指すための国際社会共通の目標」のことで、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載される形で2015年9月の国連サミットにて採択されました。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために、17の目標・169のターゲット・244の指標で構成されており、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

「JA全農ちば」は協同組合精神と使命・经营理念に基づき、様々な事業の実践を通じてSDGsに積極的に取り組みます。



農福連携によるねぎの収穫支援



天敵農薬「バンカーシート」



生分解性マルチ(葉にんにく)

## 社会貢献

### ●スポーツ支援活動

- 全農杯全日本卓球選手権大会千葉県予選への県産農畜産物提供
- 全国高等学校野球選手権大会、選抜大会出場校への県産農畜産物を贈呈
- ジェフユナイテッド市原・千葉への千葉県産の青果物・米・加工品を贈呈し、チームを応援



ジェフユナイテッド市原・千葉へのメロン贈呈

### ●各種支援活動

- フードバンクへの青果物、米の寄付
- NHK歳末助け合い募金
- エコキャップ運動への参画



フードバンクへの米の寄付

# 生産資材価格の高騰に対する取り組み

世界の人口増加による食料需要の増大や、原燃料価格の高騰などによる食料安全保障への関心の高まり等、事業環境の変化への対応に引き続き取り組みます。

生産コストの抑制としては、土壌診断による施肥コスト低減提案、銘柄集約肥料、農薬担い手直送規格(メガ得)の普及・拡大、堆肥入り肥料の普及や堆肥の活用に向けた耕畜連携に引き続き取り組みます。

加えて、生産者を取り巻く状況について、消費者への理解醸成に向けた情報発信に引き続き取り組みます。



千葉県産の牛ふん堆肥を原料にした、低コストで高機能なJAグループ千葉オリジナル肥料の開発・販売



新聞各社への理解醸成 広告掲載



ラジオによる理解醸成を訴求する職員

## 関連事業

### ●株式会社 ジェイエイライフ・千葉

「すべては葬家のために」を信条とし、故人とご遺族の想いに寄り添い、事前の相談からサポート、アフターフォローにいたるまで、心をつくした信頼のサービスを提供します。



### ●株式会社 JAエネルギー千葉

「クミアイプロパン」のブランドで千葉県内JAの生産者を中心とした一般家庭向けと業務用のLPガス販売事業を行っています。LTOS(LPガストータルオペレーションシステム)にて、お客様の使用状況、配送管理等を行っています。

また、JA組合員が日々利用している電気の販売を行っています。



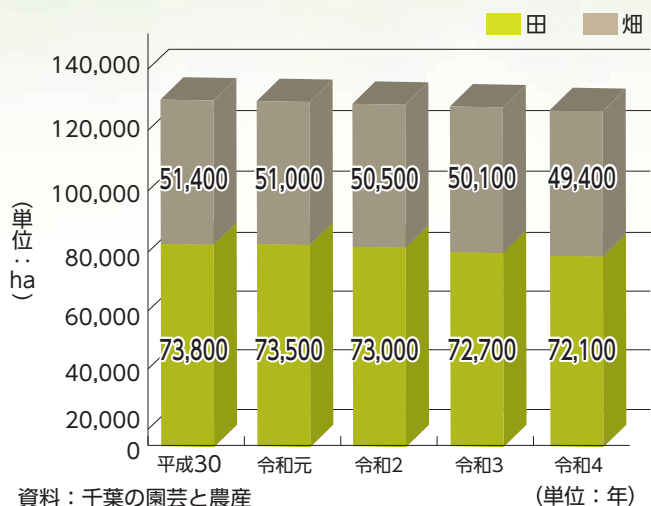
●千葉県農業

(単位：億円)

| 順 位 | 総産出額   | 耕種計   | 豆 類 | イモ類 | 野 菜   | 花 き | 生 乳   | 豚   | 鶏 卵 |
|-----|--------|-------|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-----|
| 1   | 北海道    | 北海道   | 北海道 | 北海道 | 北海道   | 愛 知 | 北海道   | 鹿児島 | 茨 城 |
|     | 13,108 | 5,456 | 341 | 722 | 2,094 | 542 | 4,069 | 900 | 502 |
| 2   | 鹿児島    | 茨 城   | 千 葉 | 茨 城 | 茨 城   | 千 葉 | 栃 木   | 宮 崎 | 鹿児島 |
|     | 4,997  | 2,822 | 93  | 366 | 1,530 | 187 | 402   | 518 | 316 |
| 3   | 茨 城    | 千 葉   | 宮 城 | 鹿児島 | 千 葉   | 静 岡 | 熊 本   | 北海道 | 岡 山 |
|     | 4,263  | 2,375 | 32  | 301 | 1,280 | 168 | 300   | 512 | 309 |
| 4   | 宮 崎    | 長 野   | 兵 庫 | 千 葉 | 熊 本   | 福 岡 | 岩 手   | 群 馬 | 広 島 |
|     | 3,478  | 2,333 | 21  | 215 | 1,186 | 165 | 234   | 468 | 280 |
| 5   | 熊 本    | 青 森   | 秋 田 | 長 崎 | 愛 知   | 茨 城 | 千 葉   | 千 葉 | 栃 木 |
|     | 3,477  | 2,330 | 20  | 154 | 1,031 | 159 | 225   | 393 | 255 |
| 6   | 千 葉    | 熊 本   | 滋 賀 | 徳 島 | 群 馬   | 埼 玉 | 群 馬   | 茨 城 | 千 葉 |
|     | 3,471  | 2,135 | 20  | 85  | 891   | 158 | 218   | 373 | 247 |

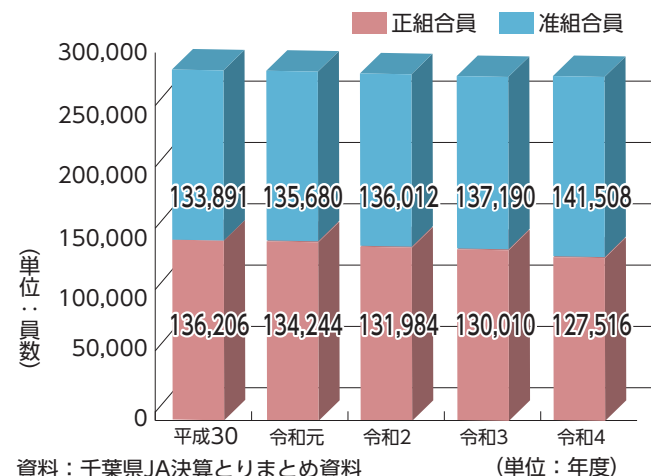
資料：令和3年農業産出額、農林水産省

## ●耕地面積の推移《千葉県》



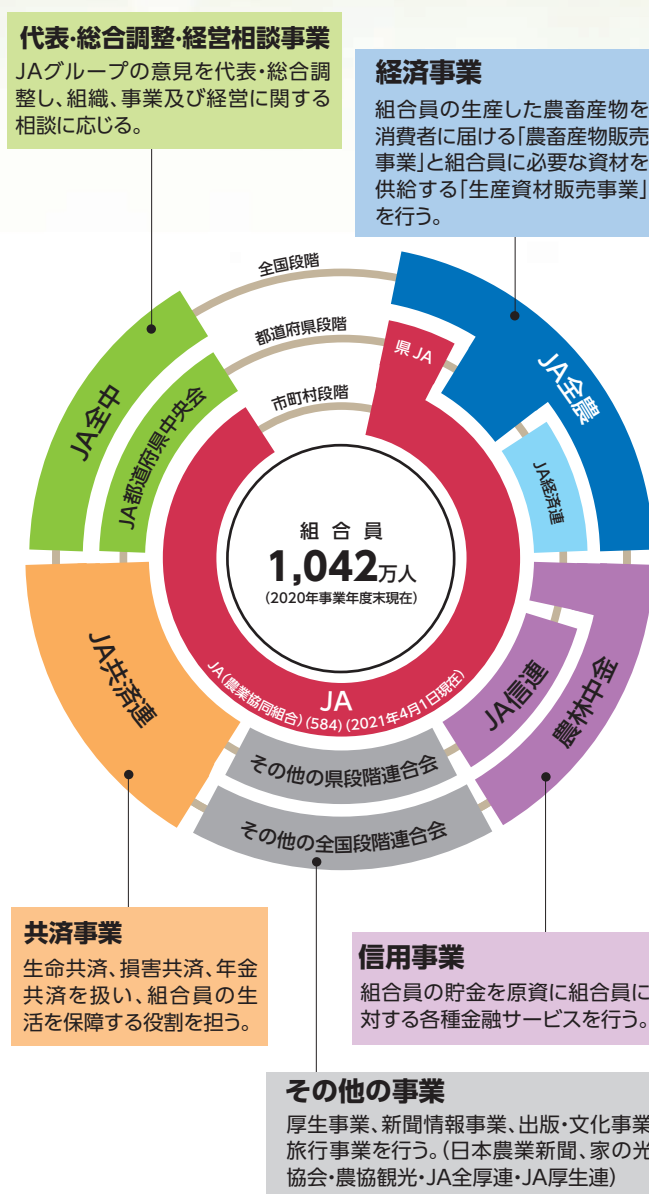
資料：千葉の園芸と農産

## ●JA組合員の推移《千葉県》



資料：千葉県JA決算とりまとめ資料

## ●JAグループの組織図



# 事務所・事業所一覧

●農業会館内 〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6

## 管理部

法務・コンプライアンス課 ☎043-245-7401  
総務人事課 ☎043-245-7370  
総合企画課 ☎043-245-7360

## 営農支援部

営農支援課 ☎043-245-7373

## 園芸部

園芸振興課 ☎043-245-7378  
園芸販売課 ☎043-245-7389  
園芸直販課 ☎043-245-7385

## 米穀部

米穀農産販売課 ☎043-245-7374

## 畜産部

畜産酪農課 ☎043-245-7381

## 生産資材物流部

生産資材事業企画課 ☎043-245-7406  
肥料農薬課 ☎043-245-7387  
資材課 ☎043-245-7379  
農業機械課 ☎043-245-7393

## 生活部

施設住宅課 ☎043-245-7396

●総合センター 〒261-0002 千葉市美浜区新港70-3

## 生活部

生活燃料課 ☎043-247-1411

## 事務所・事業所

営農技術センター  
〒286-0045 成田市並木町大久保台221-81  
☎0476-22-5131

東京園芸販売センター  
〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1  
☎03-3790-6408

青果集品センター  
〒270-1444 柏市若白毛1124-6  
☎04-7190-1377

全農のお肉工房さだもと店  
〒299-1133 君津市貞元133-1  
・問い合わせ先:畜産酪農課 ☎043-245-7381

全農のお肉工房印西店  
〒270-1334 印西市西の原4-3  
・問い合わせ先:畜産酪農課 ☎043-245-7381

畜産推進事務所  
〒289-2505 旭市鎌数6354-3  
☎0479-64-1262

県北西JA広域農機センター  
〒278-0012 野田市瀬戸975-3  
☎04-7138-3556

安房広域物流センター  
〒299-2503 南房総市石堂45-1  
☎0470-40-4191

南総広域物流センター  
〒297-0102 長生郡長南町本台628  
☎0475-40-5321

香取広域物流センター  
〒287-0026 香取市大根703-2  
☎0478-79-5580

一級建築士事務所  
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6  
☎043-245-7396

## 子会社

●(株)ジェイエライフ・千葉  
〒261-0002 千葉市美浜区新港70-3  
☎043-302-0983

# 本県を代表する農畜産物

千葉県主要農産物産出額の全国順位 令和3年産

1位



だいこん

産出額 87億円  
全国に占める割合 12%  
②北海道 ③青森



日本なし

産出額 74億円  
全国に占める割合 11%  
②茨城 ③栃木



らっかせい(からつき)

産出額 91億円  
全国に占める割合 84%  
②茨城 ③神奈川



さやいんげん(未成熟)

産出額 51億円  
全国に占める割合 20%  
②福島 ③北海道



かぶ

産出額 29億円  
全国に占める割合 27%  
②埼玉 ③青森



マッシュルーム

産出額 23億円  
全国に占める割合 34%  
②山形 ③茨城



しゅんぎく

産出額 15億円  
全国に占める割合 11%  
②大阪 ③福岡



みつば

産出額 9億円  
全国に占める割合 14%  
②茨城 ③愛知

2位



さつまいも

産出額 188億円  
全国に占める割合 19%  
①茨城 ③鹿児島



ねぎ

産出額 138億円  
全国に占める割合 11%  
①埼玉 ③茨城



にんじん

産出額 96億円  
全国に占める割合 20%  
①北海道 ③徳島



すいか

産出額 74億円  
全国に占める割合 12%  
①熊本 ③山形



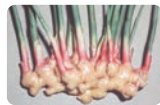
さといも

産出額 39億円  
全国に占める割合 12%  
①埼玉 ③宮崎



とうもろこし

産出額 34億円  
全国に占める割合 10%  
①北海道 ③茨城



しょうが

産出額 25億円  
全国に占める割合 11%  
①高知 ③熊本



そらめ(未成熟)

産出額 9億円  
全国に占める割合 17%  
①鹿児島 ③茨城



びわ

産出額 7億円  
全国に占める割合 23%  
①長崎 ③香川

3位



キャベツ

産出額 72億円  
全国に占める割合 8%  
①群馬 ②愛知



えだ豆(未成熟)

産出額 41億円  
全国に占める割合 11%  
①群馬 ②山形



やまのいも

産出額 22億円  
全国に占める割合 6%  
①北海道 ②青森

資料：令和3年千葉県農業産出額

## ● 経営理念

私たち全農グループは、**生産者と消費者を  
安心して結ぶ懸け橋** になります。

— 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。 —

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農ちば

全国農業協同組合連合会千葉県本部

[ HP ]



[ 公式 Instagram ]



[ 公式 Youtube ]



[ 米消費拡大動画 ]

